

## 2008年度受託研究概要報告

# 「市政ガイドこうべ(平成20年度版)」 表紙デザイン作成業務

### 研究メンバー

かわいひろゆき デザイン学部ビジュアルデザイン学科教授

### 委託者

神戸市

### 1 あらまし

神戸市は、創造都市戦略として「デザイン都市・神戸」を展開しているが、その一環として、市の現状を紹介する『市政ガイドこうべ』のデザイン性を向上させる必要に迫られた。とりわけ表紙は、冊子の内容を象徴する顔の役目を果たすため、市民が市政について興味を持つために重要なものである。こうしたことから、本学ビジュアルデザイン学科の学生たちが、表紙のデザインを開発することとなった。

### 2 業務内容

『市政ガイドこうべ』は、市の施策の方向性や財政、主要プロジェクト、観光や産業、各区の状況などを文章だけでなく、写真やイラストを用い、わかりやすくコンパクトにまとめたガイドブックである。おもに、市政に興味を持つ神戸市民や、市外から訪れる人に神戸市の現状を紹介するため、年間12,000部ほど配布されているA4版36ページの冊子である。

委託内容は、見やすく親しみやすいデザイン性に優れた表紙案3案を求められた。また、未発表でオリジナルのデザインであることと、写真を使用する場合は、被写体が市として配慮されたものである必要があるため市所有のものに限るなどの、作成上の留意事項が付帯された。

2008年5月26日(月)、神戸市広報課から2名が本学に来校しオリエンテーションが行われた。参加学生は11名。その後学内で何度かの打合せが重ねられ、6月20日(金)、こちらからのプレゼンテーションが開かれた。すべての案は一旦持ち帰られ、市の広報課で選考会が開かれ検討されることとなった。6月24日(火)、1案に決定した。以後、担当学生とともに修正とバリエーション案を検討し再度提出し、印刷入稿となった。7月下旬には冊子が完成し、市の

関連施設にて配布が開始された。

### 3 まとめ

『市政ガイドこうべ』は学生たちにはあまり馴染みのある冊子ではないが、神戸市のガイドブックということで学生のパッションは高かった。また、デザインの自由度も比較的高く、個々の学生の個性的な表現や工夫がみられた。

神戸市広報課の担当者との直接のやりとりは、学生が先方の意向や事情をダイレクトに感じることができ、普段の学内の課題では体験できない貴重な経験となった。

決定した表紙案もおおむね好評であり、双方ともに連携の成果を上げることができた。



写真1 「市政ガイドこうべ」